

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

2024 年 9 月 28 日

和泉市長 あて

団 体 名 ことわ会
代表者名 平野 恵造
所 在 地 和泉市いぶき野 1-10-9
電話番号 0725-55-6671

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	箏の音色が響くやすらぎの街づくり -みんなの笑顔があふれる『スマイル（住まう・居る）』和泉市-
申請コース	(1) 公益活動支援コース □チャレンジコース ☒ ステップアップコース (2) 地域活性化コース □地域活性化コース
事業費総額	441,450 円 (うち、対象経費 441,450 円)
支援金 交付申請額	220,000 円

1. 添付資料
- (1) 団体概要調書（様式第2号）
 - (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
 - (3) 事業計画書（様式第3号）
 - (4) 収支予算書（様式第4号）
 - (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団 体 概 要 調 書

フリガナ	コトワカイ		
団体名	ことわ会		
団体の目的	和泉市の恵まれた自然、歴史の魅力に触れながら、幼稚園児から高齢の人々が箏に親しむことにより、『スマイル（住まう・居る）』和泉市の街づくりに貢献する。		
市内事務所の所在地	〒594-0041 和泉市いぶき野 1-10-9 【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ）】		
	電 話	0725 (55) 6671	F A X ()
フリガナ	ヒラノ エイゾウ		
代表者氏名	平野 恵造		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ フリガナ	電 話	
		F A X	()
	(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。		
設 立 年 月	2016年 9月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	有 (3回発行) ・ 無	会員数	30人
メールアドレス			
ホームページ	http://		
主な事業内容	①「お箏の体験会」を継続し、参加者が箏に親しむ機会を設ける。体験会参加者が体験成果を地域の公民館や施設で「箏の演奏・体験会」を開く。 ②幼稚園・小学校で「箏の演奏・体験会」を開き箏に親しむ機会を設ける。優しい音色を心に刻む。		
主な活動の実績	・「お箏の一日体験会」（コミュニティセンター）の継続 ・令和6年度からアイあいロビーでの「お箏の一時間体験会」の開催 ・令和3～6年度は堺市幼稚園・小学校での「箏演奏および体験会」 ・「アイ・あいロビー」25周年記念事業でのパネル展示・チラシ配架 ・モアいずみフォーラムにて演奏 ・和泉国際交流会 ICIX で「箏の演奏・体験会」 ・歌声サロンの「歌おう会二部の箏演奏」 ・いこいの家 英のお楽しみサロン ・い登たけ会 箏と尺八の調べ ・いきいきサロン、公民会、青少年センター、老人ホーム等での演奏会		
国・府・市及び各種団体等からの他の補助金及び委託実績 (過去3年間の実績を記載)	金額(円)	名称	金額(円)
	令和4、5年度	和泉市男女共同参画推進事業(オアシス)	65,000

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	箏の音色が響くやすらぎの街づくり —みんなの笑顔があふれる『スマイル（住もう・居る）』和泉市—
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース ☐ チャレンジコース ☒ ステップアップコース (2) 地域活性化コース ☐ 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
①事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 a. コロナによる活動制限の長期化により、いじめの低年齢化や不登校の子どもが増えている。 b. 市民、特に高齢者の中には、趣味を持たず家に閉じこもりがちな生活を送り、地域で孤立する人々も多い。人生 100 年時代を迎え、心身とも健康寿命を延ばすことが求められる。	
②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 a. 幼い頃にやすらぎの箏音を心に刻み、仲間と合奏する楽しさに触れる。これにより、いじめの萌芽を防ぐ。 b. 音楽演奏は脳機能を活性化するといわれている。さらに、成人・高齢者には合奏による『協働』の楽しさを生活の一部に取り込み、QOL を高めて健康寿命の増進に役立てる。 c. お箏三味およびここから派生する演奏活動をめざすことで、目標を持って生活意欲を高める。 d. 日本の伝統楽器、尺八・三味線に 17 弦と 13 弦箏の合奏により、日本の伝統音楽への親しみや関心を高め、日本の伝統音楽を広める。	
4 事業内容（※別紙添付可）	
①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 a-1. 広報・地域誌への掲載や学校訪問や和泉市教育委員会に働きかけて、幼稚園・小学校・中学校での「箏の演奏会と体験会」を案内する。要望園・要望校に箏を搬入して季節の箏曲演奏後に、全員箏に触れて演奏・合奏をする。 a-2. 年 2 回行楽シーズンに屋外演奏会「箏の調べ」を開催し、老若男女の親子連れの行楽観光客に年齢・性を問わず、一緒に箏のやすらぎの響きを味わう機会を作る。 b-1. ・「お箏三味体験会」：未経験者や練習する機会がない経験者にコミュニティセンターで半日たっぷり箏を演奏する企画を月に 1 回継続してきた。初心者も 1 回の参加で易しい曲を演奏できるようになり、最後に皆で合奏をしてその日の成果を確認し達成感を持って帰ってもらっている。 ・令和 6 年度に和泉市文化協会に入会したことで、新年の弾き初め「お箏のしらべ」に初参加する。「箏三味」活動の成果を披露し、箏を学び・楽しむ機会がすぐそばにあることを知ってもらう。 ・総合福祉会館、アイ・あいロビーで当日参加型の「学び・買い物帰りの箏体験」を実施して、箏に親しむ機会・合奏する機会を広める。 b-2. コミュニティセンターの「箏三味」参加者、総合福祉会館、アイ・あいロビーの参加者の演奏チーム作りを企画して市内の福祉施設・公民館で「体験会付の箏演奏会」を開催し箏演奏者を増やす。この企画から施設利用者・関係者・近隣の方に箏音の癒しの音色に親しみ・演奏・合奏する機会を広げていく。 b-3. 「ワクワク体験フェス」（INOVATION PARK OSAKA IZUMI）に替えて「ボランティアフェスタ」（アムゼモールひろば）で演奏し、より集客・広報を図る。 c. 和泉の国 JAZZ STREET・久保惣コンサートホール演奏を目標に、箏の音色が響くやすらぎの街づくり—みんなの笑顔があふれる『スマイル（住もう・居る）』和泉市—を広める。 d. 茶室（シティプラザ翔泉亭）での、尺八・三味線に 17 弦と 13 弦箏の合奏により、日本の伝統音楽への親しみや関心を高め、日本の伝統音楽を広める。	

②実施期間 (日時)	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 15 日
③実施場所	a. 和泉市内の幼稚園・保育所および小学校 b-1. コミュニティセンター。総合福祉会館、アイ・あいロビー、 b-2. 和泉市内公民館・イキイキサロン・いこいの家、介護施設他。 b-3. アムゼモールひろば c. 和泉の国 JAZZ STREET・久保惣コンサートホール
④主な対象者	和泉市在住の幼稚園児から高齢者まで（年齢・性別・障がい・経験不問）
⑤参加予定者数	a. 和泉市内の幼稚園・保育所（3 予定） 3×20 人（60 人） 小学校（5 予定） 5×4（クラス）×30 人（600 人） 中学校（2 予定） 2×4（クラス）×30 人（240 人） b-1. ・コミュニティセンター（12 回/年）12 回×15 人（180 人） ・コミュニティセンター「弾き初め会」（会場定員 2/3）224 人 ・総合福祉会館（4 回/年「年齢・経験不問、手ぶらで体験」 「機能訓練者の箏体験」など） 4 回×6 人（24 人） ・アイ・あいロビー（12 回/年、「買い物帰りに箏体験」「ランチの前に 箏演奏」他の企画を予定） 12 回×3 人×3 枠（108 人） b-2. 和泉市内地域公民館・いこいの家、介護施設他 10 施設（予定）10 回×20～40 人（2～400 人） b-3. アムゼモールひろばボランティアフェスタ 50～100 人 c. 和泉の国 JAZZ STREET 会場・久保惣コンサートホール 100～200 人 d. シティプラザ翔泉亭 お祝い会 50 人
⑥告知方法	・和泉市ホームページ・広報誌に掲載、地域のコミュニティ誌掲載 ・市内店舗にポスター掲示 ・市役所および支所・図書館、コミュニティセンター、総合福祉会館、アイ・あいロビー、シティプラザにチラシ配布 ・和泉市内地域公民館・いこいの家、介護施設他などに訪問・チラシ配布 ・年 2 回行楽シーズンに屋外演奏会「箏の調べ」を開催し、老若男女・子連れの家族・国外の方など行楽観光客に箏のやすらぎの響きを味わう機会を作る。またこの場で「箏三昧体験会」を呼び掛けるチラシを配布
5 事業スケジュール	
時期（月）	内容
4 月	定例会を月二回開催（翌々月の行事の決定・参加者募集・集客プランに基づきチラシ配布。翌月の参加応募者の登録と追加応募者の募集。当月の実施計画：選曲・当日配置、実施・反省会と次回詳細案の修正・作成）随時施設訪問の依頼・幼稚園学校の体験依頼を検討・実地 運営会議（事業年度の実績を評価・反省の基にして新年度目標を建てる） 春・秋季屋外箏演奏会「箏の調べ」実施計画・演奏者選定・交渉。当日詳細計画作成・案内手紙発送
5 月	和泉の国 JAZZ STREET 会場・久保惣コンサートホール演奏の応募検討。 春季屋外箏演奏会準備・集客実施・終了後事業成果の評価
6、7 月	和泉の国 JAZZ STREET 会場・久保惣コンサートホール演奏の応募
8 月	秋季屋外箏演奏会「箏の調べ」実施計画・演奏者選定・交渉。詳細計画作成。 運営会議（事業年度半ばの実績の評価・反省を基に新年度目標を見直す）。 弾き初め会の参加者募集と選曲・練習計画立案
9、10 月	これまでの参加者の活動チェック・支援方法の検討 シティプラザ翔泉亭の尺八・三味線・17 弦箏 13 弦箏のお祝い会

11月	和泉の国 JAZZ STREET 会場・久保惣コンサートホール演奏練習・実施・反省会。
12月	秋季屋外箏演奏会準備・集客実施・終了後反省会
1～3月	弾き初め会準備・集客プランに基づきチラシ配布。集客手紙配布。 弾き初め会実施・終了後反省会 発表会準備・集客チラシ配布・案内手紙発送（これまでの参加者の参加募る） 発表会準備・集客実施・終了後反省会 運営会議（事業年度の実績を評価・反省の基にして新年度目標を建てる） 春・秋屋外箏演奏会「箏の調べ」実施計画・演奏者選定・交渉。当日詳細計画作成・案内手紙発送。
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 （実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）	
①公益性	①和泉市在住の幼稚園児から高齢者まで、年齢・性別・障害の有無・経験を問わず広い住民層をカバーする事業である。 ②保育付きの箏三昧活動で参加しやすく、箏三昧活動中は誰でもが箏にどっぷり向き合える。これにより心の解放になる。 ③参加し箏音に癒され語り合ういい場となる。
②継続性	①コミュニティセンターの「箏の体験会」参加費用は350円/回で廉価 ②市役所近くや、和泉中央付近での活動も選べる。 ③令和6年度度から和泉市箏曲会に入会し、和泉市教育委員会の支援を得て継続的な演奏活動が行える。
③実行性	①令和3年度の事業開始以来、参加者は漸増し、市民の声に呼応した取り組みである。 ②ことわ会の構成員の多くは、和泉市の成人箏教室で10年もの間、優れた指導者から指導を受けた経験があり、その後も演奏技術の向上に努めている。 ③座奏での演奏が高齢者のみならず、若年層においても箏演奏を敬遠する原因の一つになっている。コミュニティセンター・文化協会に窮状を訴え、今後も立奏台の購入請求を続け、誰でもが「お箏三昧」に参加し易い環境を作る。
④協働性	①世代や地域を超えて幅広い層を含めた協働活動である。 ②ことわ会等参加者がことわ会を核として市内諸施設に出張して箏を演奏し箏の優しい音色を聴く癒しの機会を設ける。またその利用者・利用者家族・施設関係者の「体験会」を積極的に設け箏に気軽に触れる機会を作り、音楽を聴くこと・演奏することがQOL 高める契機となり人生百年時代に役に立つことを願っている。出張演奏に参加する会員同士の交流が活発になり、健康増進に繋がる。
⑤公開性	①行楽のシーズンには戸外に出て、さらに箏・17弦に日本の伝統楽器尺八・三味線を加えて屋外演奏会「箏の調べ」を開催する。広く国籍問わず、行楽客に箏のやすらぎの音色・伝統楽器の演奏が醸し出す幽玄な音色に楽しみ、親しむ機会を作る。さらにこの場で箏・尺八の対戦会を企画し、幼児から高齢者、性別問わず、ともに楽しむ機会を気軽に作る。 ②本事業を会報・定期的に会報の発行・ポスターやチラシの配布、広報誌・地域誌への掲載し本事業についての情報を発信する。 ③人通りの多い（アイ・あいロビー他）場所で体験を併せた練習の機会を増やす、これによっても「箏の一日体験会」参加の契機を作る。 ④市内介護施設などに出張して「箏の演奏・体験会」として施設利用者・利用者家族、施設関係者に対しても箏に触れる機会をつくり、地域交流の促進や高齢者の健康増進に繋げる。

⑥発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	①年 2 回の屋外演奏会「箏の調べ」を聴く機会を得た人や「箏三昧体験会」参加者、老若男女問わず箏のやすらぎの響きは人生 100 年時代の安心・安全の生活の基盤を作る。 ②「箏三昧体験会」は集中的に箏に向かって当日に体験曲を仕上げることで達成感が得られる。また、皆で合奏することにより箏演奏の楽しみは数倍になる。ことわ会から必要な支援を受けて、体験参加者が自主的に仲間を作って主体的に「演奏・体験会」を開いて発展させる新たな視点・発想のこれまでにない取り組みである。他の事業の開始モデルとなり、他の地域・領域での活動モデルとして広がる事業となり得る。 ③和泉の国 JAZZ STREET・久保惣コンサートホールの演奏を目指しことわ会の事業目標—和泉市の恵まれた自然、歴史の魅力に触れながら、幼稚園児から高齢の人々が箏に親しむことにより、『スマイル（住まう・居る）』和泉市づくり—を広める。 ④シティプラザ翔泉亭での尺八・三味線・17 弦箏 13 弦箏の合奏により、日本の伝統楽器への親しみや関心を高め、日本の伝統音楽を広める。
--	--

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収 支 予 算 書

事業の名称：箏の音色が響くやすらぎの街づくり
 ーみんなの笑顔があふれる『スマイル（住まう・居る）』和泉市ー

1. 【収 入】 (単位：円)

項 目	金 額	積算根拠
支援金	220,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	63,000	参加費 350 円×15 人×12 回
		寄付金（箏関連業者）
自主財源	158,450	有償ボランティア活動収入、会費
合 計	441,450	

2. 【支 出】 (単位：円)

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	172,000	演奏者謝礼（演奏会「箏の調べ」） 3,000 円(×4 時間) ×2 人×2 回(箏の調べ) 48,000 保育者謝礼 1,000 円(×4 時間) ×2 人×12 回(体験会) 96,000 1,000 円(×7 時間) ×2 人×1 回(弾き初め会) 14,000 1,000 円(×7 時間) ×2 人×1 回(発表会) 14,000
旅費	134,000	演奏者 2000 円×2 人×2 回 8,000 体験会スタッフ 1,500 円×6 人×12 回 108,000 弾き初め会スタッフ 1,500 円×6 人×1 回 9,000 発表会スタッフ 1,500 円×6 人×1 回 9,000
消耗品費	24,600	貸出用爪（マジックテープ付き）4,200 円×3 12,600 コピー用紙 A4 版 2,000 円 2,000 インク 2500 円×4 10,000
食糧費	3,600	スタッフ作業時飲料代（5～10 月）100 円×6 人×6 回 3,600
印刷製本費	6,000	カラーチラシ片面 50 円×100 枚、白黒チラシ片面 A3 版 10 円×100 枚
役務費	17,000	春・秋季屋外演奏会「箏の調べ」・弾き初め会の案内 60 人（コミセン「箏の体験会」全参加者の 1/3）×3+20（関 係幼稚園・小中学校、関係施設）×85 円（はがき代）
賃借料	84,250	貸箏（コミセン体験会）150 円×21 面×12 回 37,800 会場費（コミセン体験会；教養娯楽室） 750 円×4(13 時～17 時)×12 回 36,000 会場費(シティプラザ発表会:翔泉亭) 10,450
合 計	441,450	
対象経費	441,450	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。